

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025年 8月 7日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	松浦企業株式会社
所在地	〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町1-6
代表者役職・氏名	代表取締役社長 松浦 泰隆
担当者連絡先	電話：045-521-5134
	メール：nakamura_y@matsuurakigyo.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.matsuurakigyo.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>昭和10年3月に砂利・石材の販売から出発した当社は、現在、「港湾工事」と「建設資材の採取販売」を二本柱として事業を行っています。</p> <p>「港湾工事」では、横浜・東京の港を中心に、自社船の「第七金剛丸」「第三隆盛丸」を用いた浚渫工事や、防波堤やケーソン等の構造物工事の請負事業を実施しています。</p> <p>「建設資材の採取販売」では、千葉県富津市と鋸南町、北海道日高町に採取場を所有し、生コンやアスファルトの材料となる砂や碎石等を建設骨材として、主に神奈川県の生コン・合材工場に供給しています。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	所有船を改良し（操作系統の電子化、コンピュータによる操作）、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転（昇降・開閉・旋回・起伏）の自動・自律化 【目標】1隻（第七金剛丸） 【現状】2023.09.19搭載
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	電気自動車（EV）を導入することで、CO2排出量の削減を図る。	EV車両数 【目標】3台 【現状】0台
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【目標】2回/年 【現状】2022.12.16実施 2023.12.15実施 2024.12.13実施

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・社会的差別の原因となる思想、宗教、人種、民族等の個人情報収集を禁止することを、個人情報取扱規定に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント(パワハラ・セクハラ・モラハラ等)に関する規定を就業規則に明記。相談窓口の周知、社員教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・勤怠管理システム(勤コン管)で管理。一定時間を超えそうな場合は、個人及び所属長に通知が入る。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎年「安全衛生委員会」にて、「安全衛生計画」・「安全目標」を作成し、安全大会にて社内・協力会社に重点施策の周知徹底を行っている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックを年1回実施し、その結果に基づき医療機関での診察を促している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・60歳定年後、65歳まで再雇用する制度を、就業規則に明記している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格取得にかかる費用(受験料等)を負担している。 ・社外研修費用を全額負担している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・フィットネスクラブと法人契約を締結し、従業員が施設を活用できる環境を整備している。 ・「横浜健康経営認証」において、クラスAAAの取得を目指し、取り組んでいる。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・リサイクルの推進を行っている。(古紙・段ボール、ペットボトル:エコキャップ運動) ・現場で発生している産業廃棄物を種類ごと分別し、適切な処理を行っている。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・自社ダンプの運行管理にデジタルタコメーターを導入し、安全走行による燃費向上・使用燃料の削減を実施している。								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・自社船舶、現場において、ペンキ等使用する材料については、「化学物質安全シート(MSDS)」を、メーカーから収集・保管し、有害物質を把握し取り扱っている。			3.9				6.3				11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 自社船舶の油圧作動部分に、生分解性油圧作動油(天然のバクテリアにより生分解されるため、油漏れ等による環境汚染を防止できる)を使用し、環境保全に努めている。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 自社浚渫船(第七金剛丸)にて、発生したし尿を処理し、処理した水をオゾンで殺菌して洗浄水及び緑化スペースに散水再利用している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 本所に隣接する倉庫に太陽光発電を導入している。 推定発電量6,406kwh/年 ・ 自社浚渫船(第七金剛丸)にて、太陽光パネルを設置し、発電された電気を発電機の負荷低減に活用している。また、照明設備にはLEDを採用し消費電力を抑制している。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ いちご狩り農園(富津アクアファーム)にて、使用した培土を太陽熱処理することで、廃棄せず翌シーズンの栽培に再利用している。また、栽培に必要な養液を循環利用している。											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 品質マネジメントに関する認証「ISO9001」を取得している。															9		
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる								6				12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ いちご狩り農園(富津アクアファーム)では、子供やベビーカー・車椅子の方が利用できるように、通路を広くし、いちごを上下に分けて栽培する等、配慮した設計としている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 横浜港災害対策支援協議会に所属し、横浜港において激甚な自然災害が発生した際に、応急対策で必要となる建設資機材、技術者及び労働者を提供できる体制を整えている。				4						9	11	12	14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 横浜市を通じて帆船日本丸事業として、公益社団法人帆船日本丸記念財団に、寄付金を贈呈している。 ・ 町内会の清掃活動に、年1回参加している。				4							11		14	15		17	
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・ いちご狩り農園(富津アクアファーム)では、地元の富津市において、「ふるさと納税」の返礼協賛品として、冷凍イチゴを提供している。								8	9		11	12	13				

